

女性たちの働き方が変わりつつある…？

【福岡の女性たちの働く意識や転職に関する実態調査アンケート】

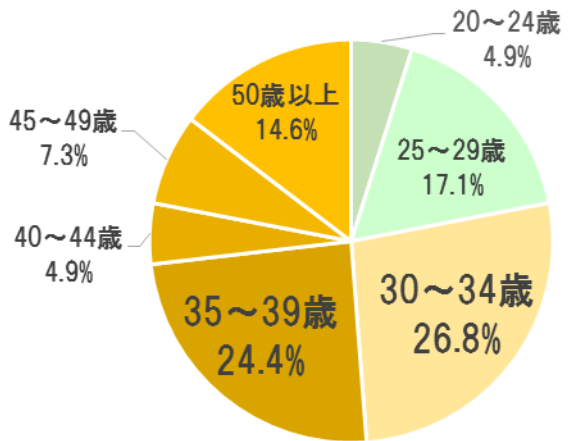
福岡の女性たちの働き方をひも解くと、
「私らしい働き方」を模索する彼女たちの姿が見えてきました。
女性たちの勤続年数や、働く上での意識、転職経験や派遣の実態まで、
働く女性たちの働き方の最新実態に迫ります。



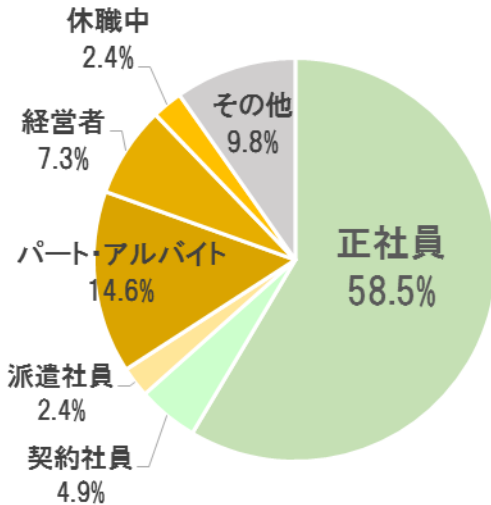
回答者のプロフィール

●調査方法／avanti働く女性研究所登録メンバーに対するインターネット調査
●調査期間／平成26年10月14日～11月7日 ●N=82

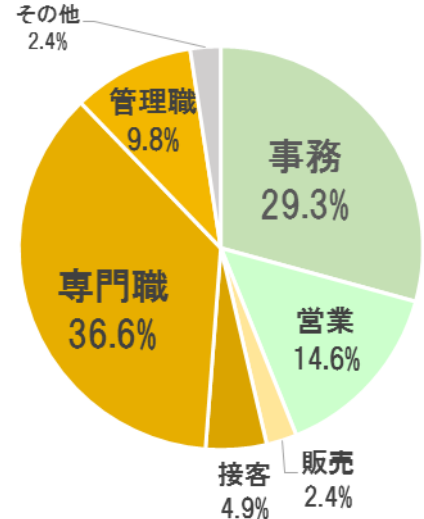
●年齢



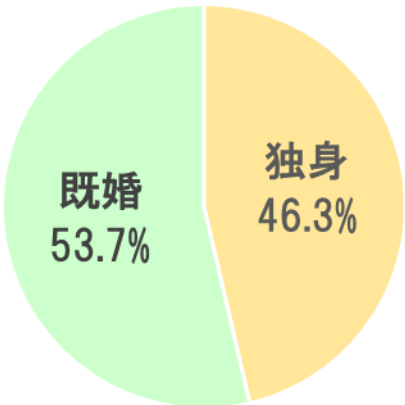
●雇用形態



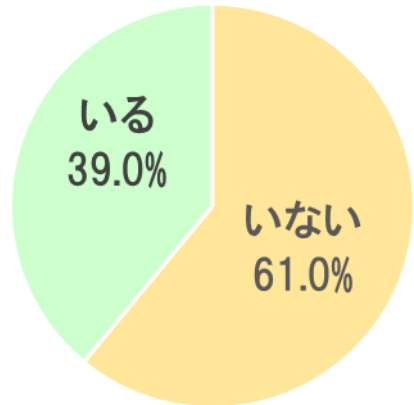
●職種



●未既婚

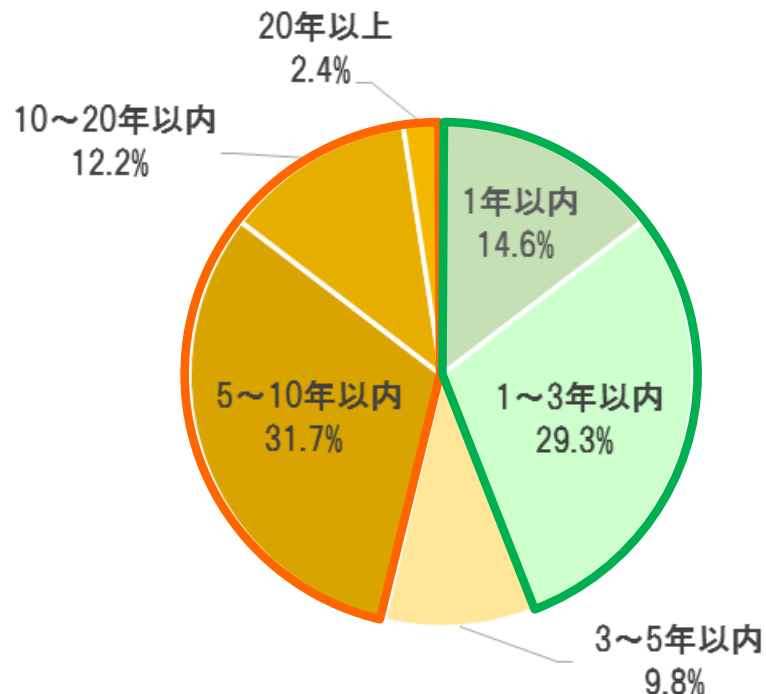


●子どもの有無



勤続年数は、年齢を重ねるごとに2極化

Q1. 現在の職場での勤続年数を教えてください。



年代別にみると…

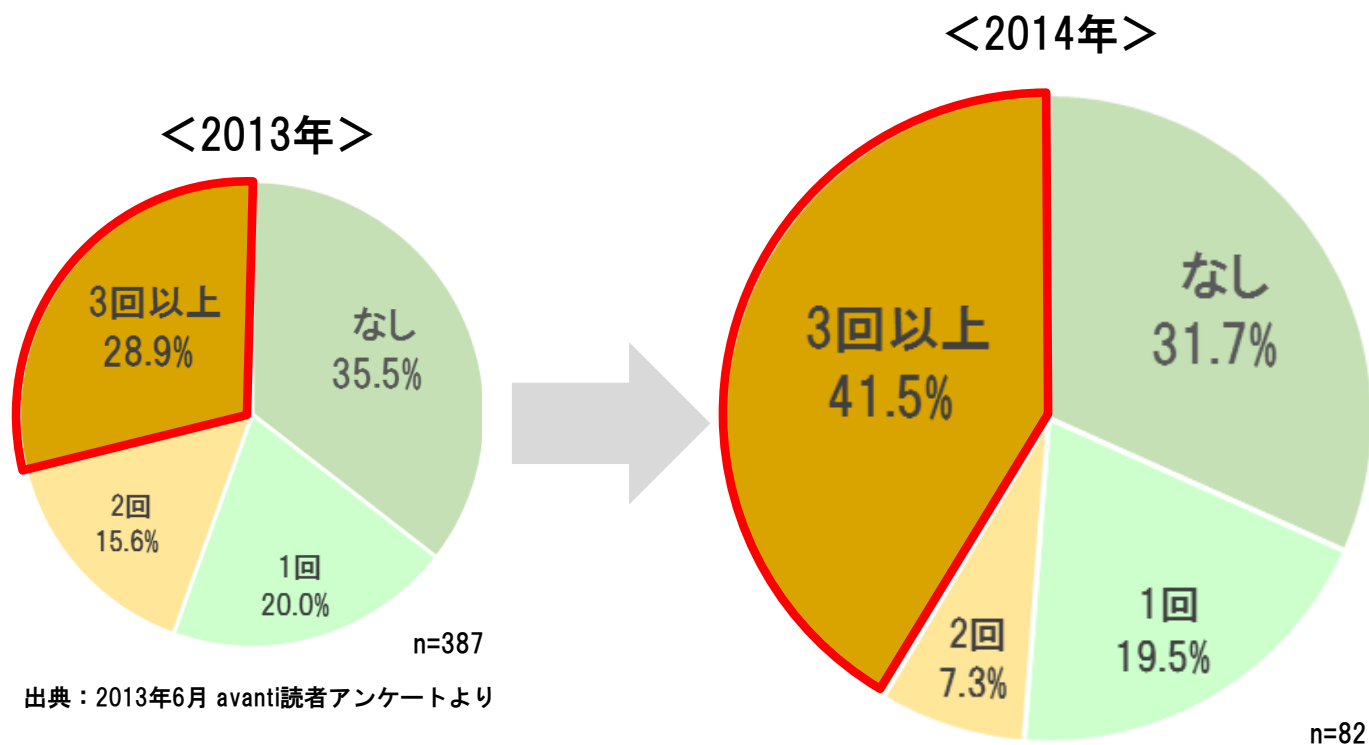
勤続年数\年代	20代	30代	40代	50代以上
1年以内	33.3%	4.8%	20.0%	16.7%
1~3年以内	44.4%	23.8%	60.0%	0.0%
3~5年以内	11.1%	14.3%	0.0%	0.0%
5~10年以内	11.1%	47.6%	20.0%	16.7%
10~20年以内	0.0%	9.5%	0.0%	50.0%
20年以上	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%

n=82

女性たちの現在の職場での勤続年数は、3年以内が約45%、5年以上が約45%と、2つに分かれる結果に。年代別で見ると、20代では3年以内が最も多く、30代では1年～20年以内にばらつきがみられ、40代・50代では3年以内か5年以上の2つに分かれていた。年齢を重ねるごとに、短期の勤務を繰り返す人と、長く務める人との2極化している構造がみられる。

3人に1人が転職を3回以上経験

Q2. 転職経験はありますか？



転職経験は「なし」が約3割。「3回」が約2割、「4回以上」が2割。8割近い女性が転職を経験したことがあり、さらには4割の女性が「3回以上」転職していることがわかった。

また、2013年の同様の質問結果と比較すると、「3回以上」の転職経験者が1割ほど増えていることがわかった。昨年以上に転職経験者は増え続けている様子が見える。

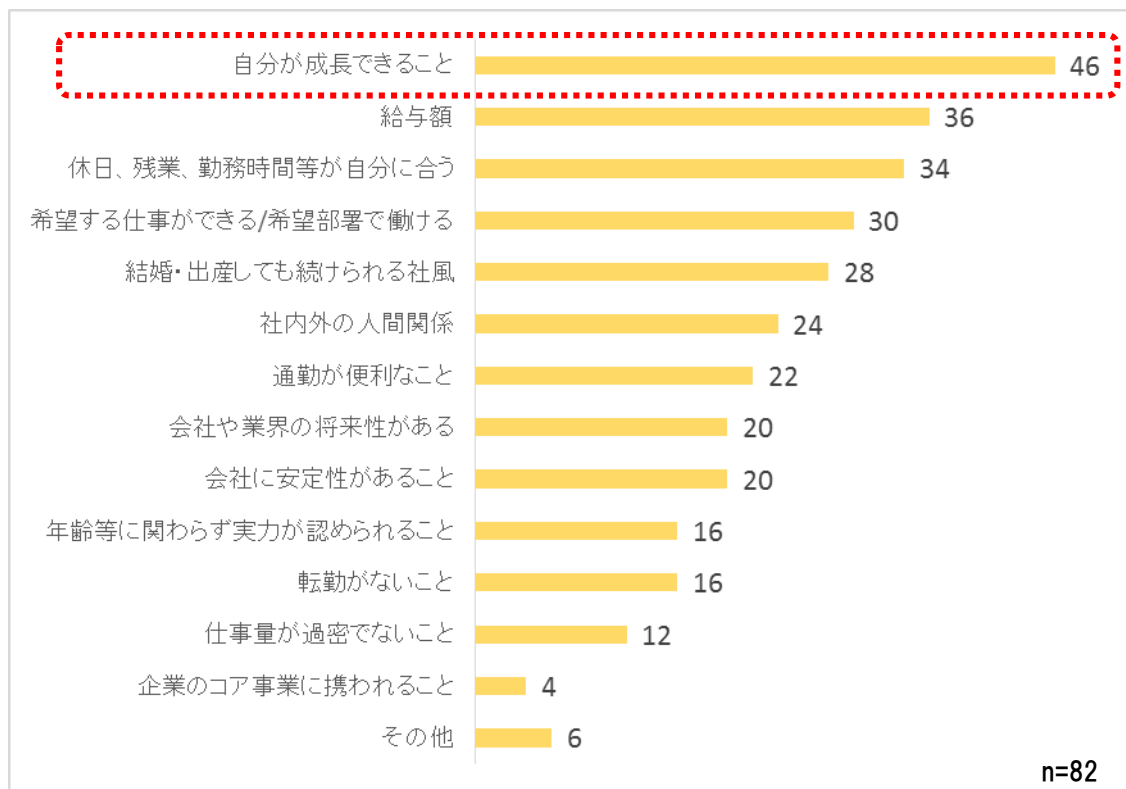
仕事で譲れないのは【給与】よりも【成長】

Q3. 自分が働くうえで譲れない条件は何ですか？（上位3つまで選択）

第1位 自分の成長

第2位 給与額

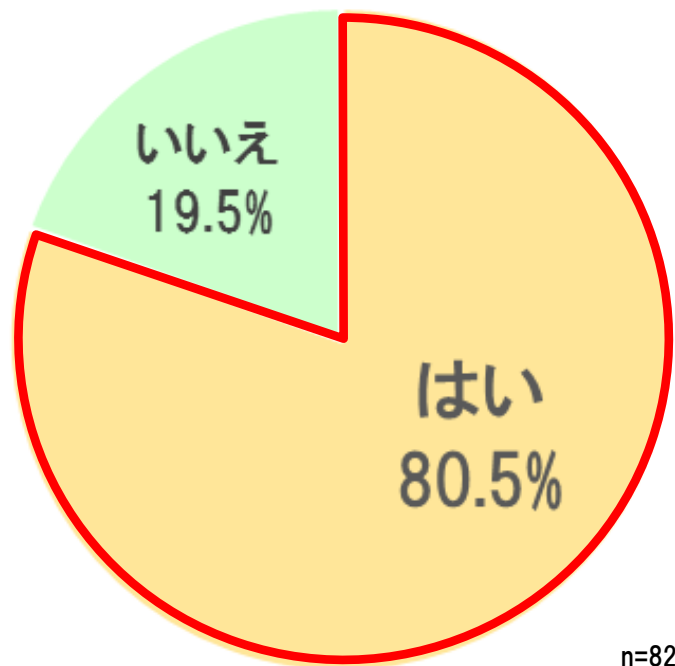
第3位 休日・残業・勤務時間



第1位は【自分が成長できること】。そして【給与額】【休日・残業・勤務時間】【希望する仕事ができる】と条件面の項目が続く。給与や勤務条件はもちろんだが、それ以上に自分自身の成長を大切にしたい女性達が多いことがわかった。

8割以上の女性が転職志向あり！

Q4. 転職しようと思ったことはありますか？



転職しようと思ったことのある女性は、8割をこえる。多くの女性たちが、転職の機会を求めていることがうかがえる。

転職を考える2大理由は【会社の将来性】と【人間関係】

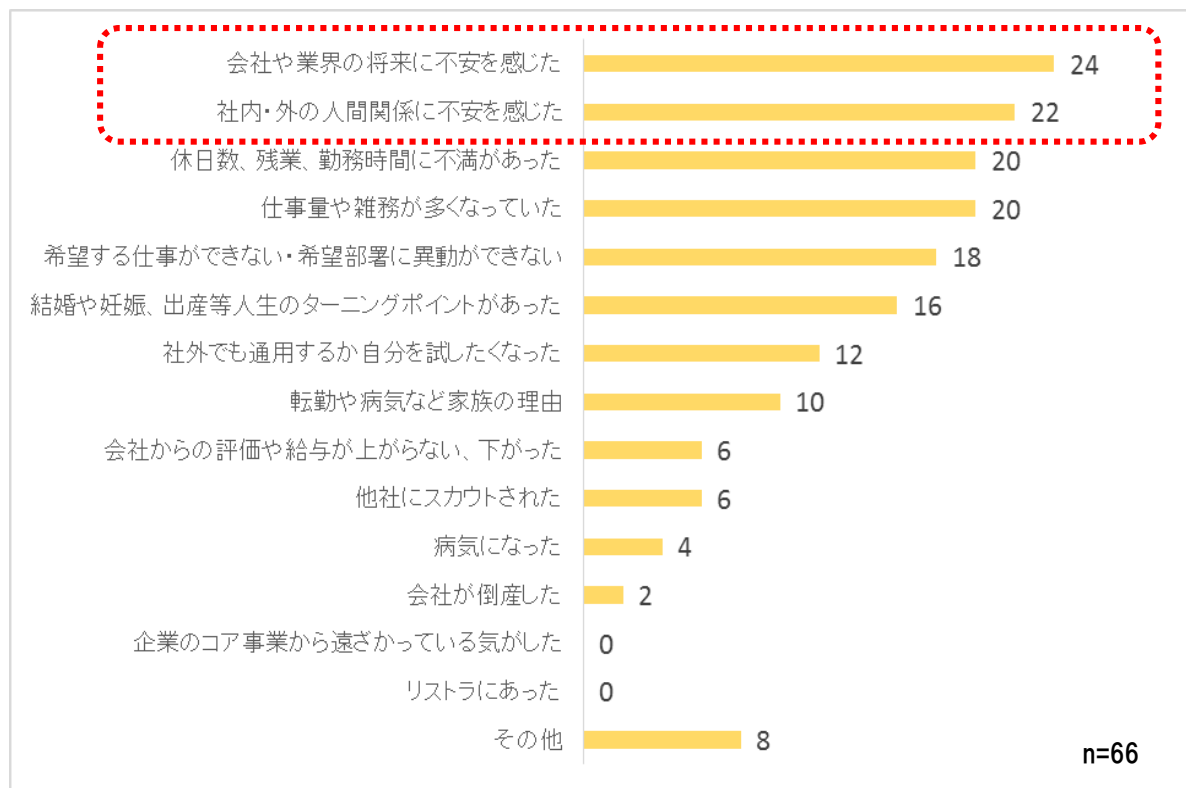
Q5. (Q4.「転職しようと考えたことがありますか?」に「はい」の人へ) その理由は何ですか? (上位3つまで選択)

第1位 会社の将来への不安

第2位 人間関係への不安

第3位 休日・残業・勤務時間

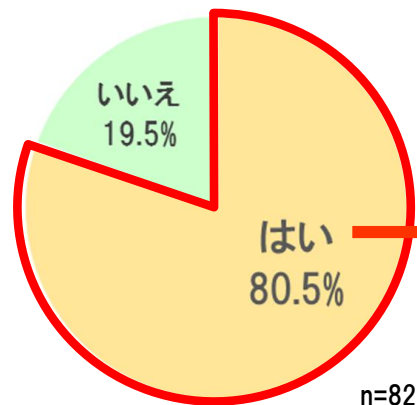
第4位 仕事量や雑務



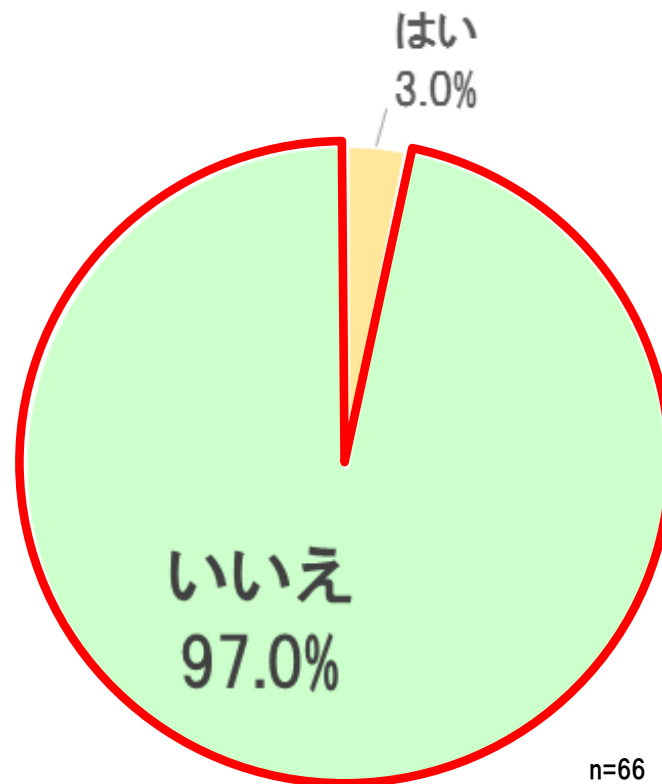
「会社や業界の将来に不安を感じた」「社内外の人間関係に不安を感じた」がトップ2。会社の将来性に不安を感じる安定志向の意識や、職場で日々直面するリアルな人間関係など、働く上での精神的負担になりやすい事項が、まずは転職を具体的に考えるきっかけとなっているのかもしれない。

転職を考えても、転職フェアには行ったことがない！

Q4. 転職しようと思ったことがありますか？



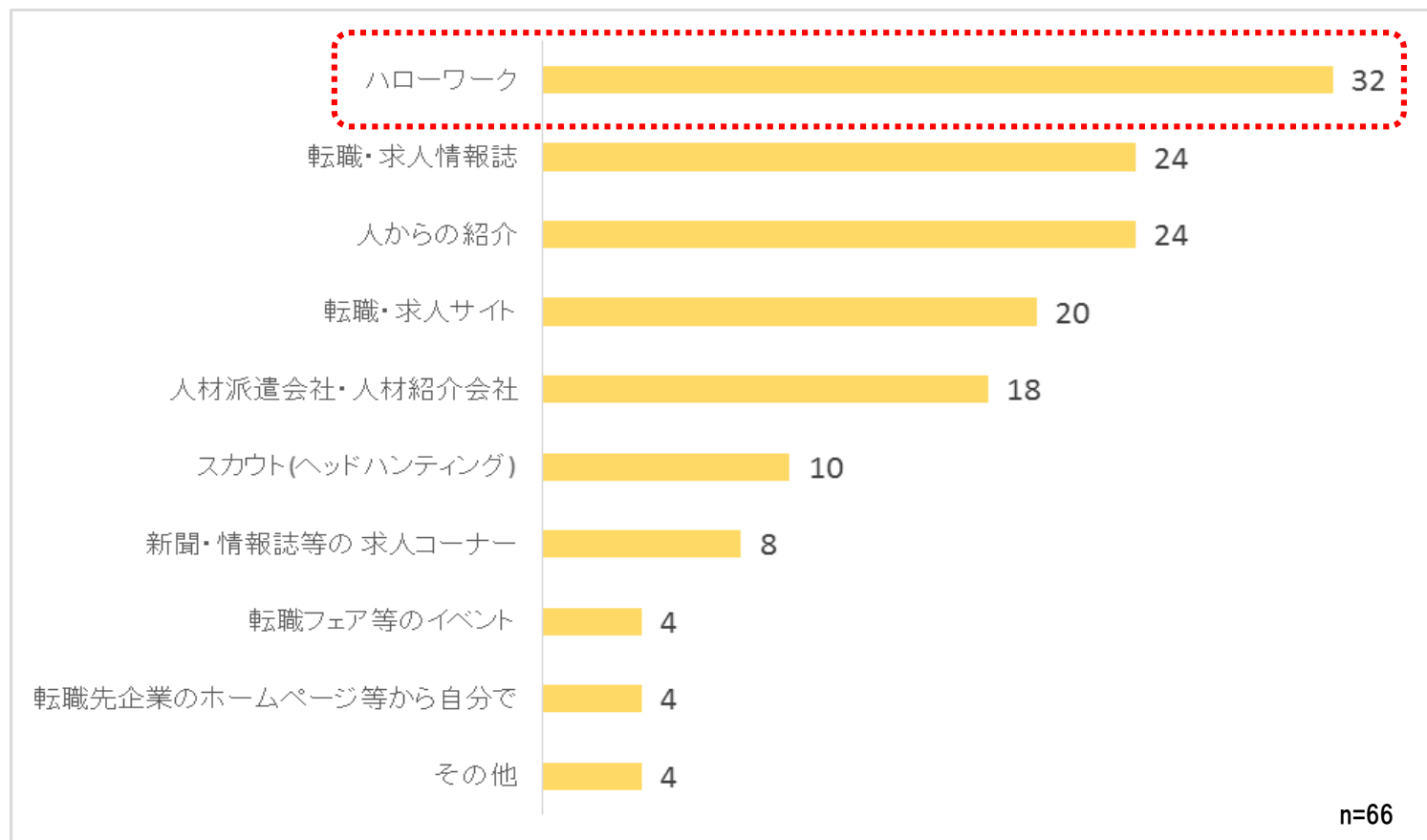
Q6. (Q4で「はい」の人へ)
転職フェアに参加したことはありますか？



転職を考えたことのある女性のうち、転職フェアに参加したことがある人はわずか3%。残る97%は転職を考えても転職フェアなど具体的行動は起こしていないことが判明。

転職先探しのいちばんは【ハローワーク】

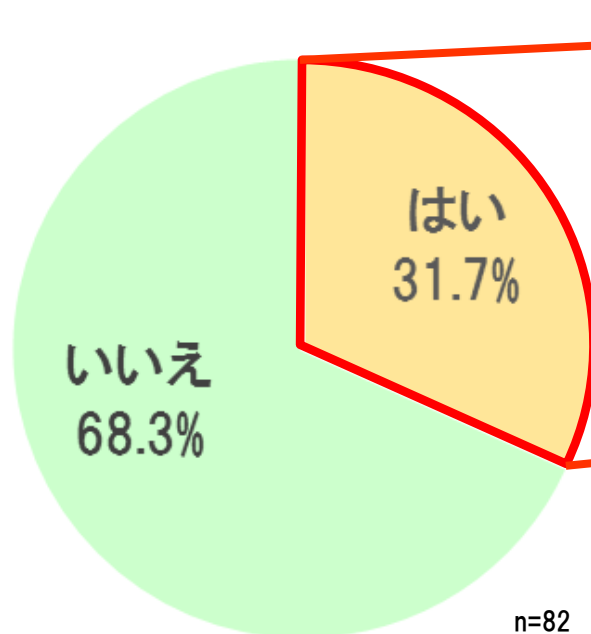
Q7. (転職経験のある人へ) 転職先を見つけた方法は何でしたか? (複数回答)



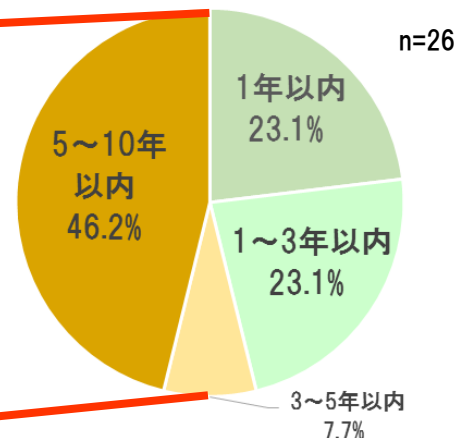
第1位は「ハローワーク」、第2位は「転職・求人情報誌」「人からの紹介」。失業手当の申請などでも立ち寄る必要があり、とても身近なハローワークを転職の足がかりとしている人が多いようだ。

3人に1人は、派遣社員経験あり

Q8. 派遣社員の経験はありますか？



Q9. 派遣社員の総トータル期間を教えてください。(現在の人も)



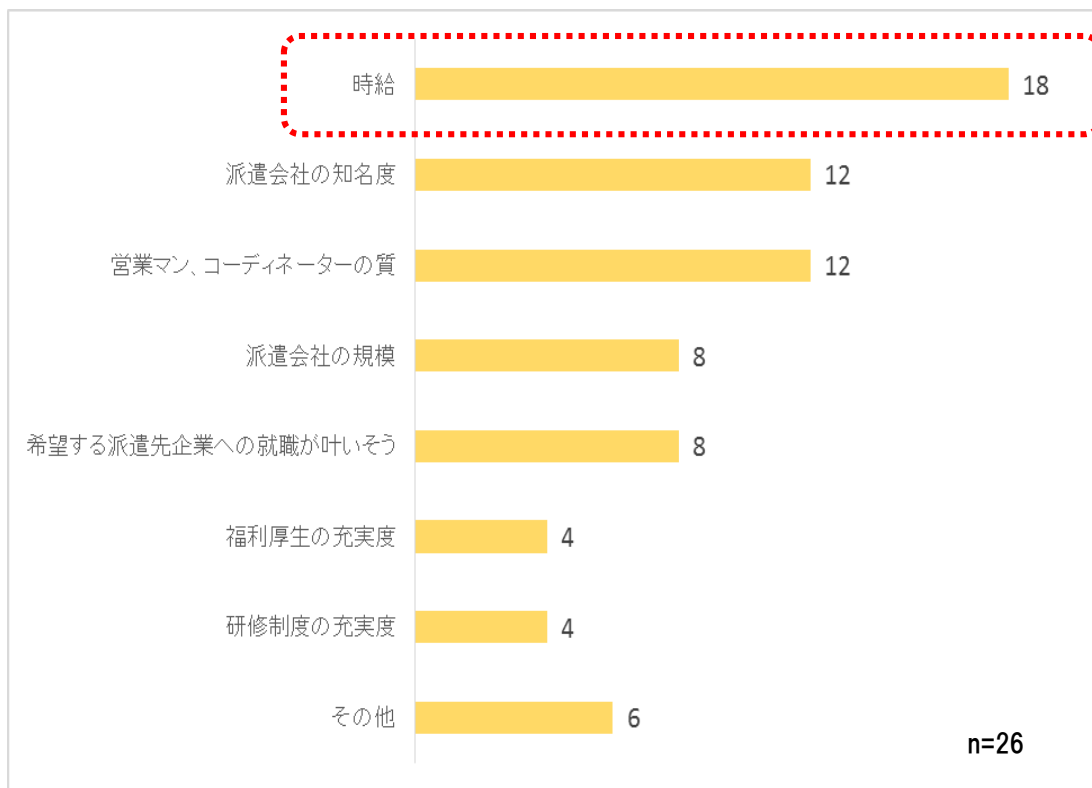
Q10. 派遣されたことのある企業数
平均 **3社**

Q11. 登録したことのある派遣企業数
平均 **3社**

派遣社員の経験があるのは、3人に1人。経験者の約半数が「3年以内」か「5～10年以内」の派遣社員経験があり、経験期間が短いか、長いかで2分された。

【給与】と【安心感】で派遣会社を選ぶ

Q12. 登録した人材派遣企業を選んだ基準は何でしたか？（複数回答）



【選んでよかったと思った派遣企業のエピソード】

- コーディネーターさんが親身になってくれた。条件に不満はあったが、最終的には『人』対『人』の世界だと思っから、その信頼関係がないと続けることはできないと思う。
- 担当さんが親身になってくれた
- 以前勤めていた派遣先でパワハラに悩んでいたことを相談をすると親身に話を聞いてくれました。その後、現在の仕事を紹介され4年間勤めています。最後の契約更新を行い、現在の職場に居るのも残すところ3ヶ月。引継ぎの段取りから次の職種の希望など、バッチリ対応をしてくれているので、安心して働けます！
- 面接時の髪形やメイクのアドバイスをもらえて、とても助かった。
- スタッフの人が話しやすく、派遣企業のオフィスにも行きやすかった。そのため、研修なども受けやすくスキルアップもできました。

派遣企業を選ぶ基準第1位は「時給」。2位は「派遣会社の知名度」「営業マン・コーディネーターの質」。派遣企業選びの2大条件は、給与と、知名度やコーディネーターなどの会社の安心感・信頼感のようだ。

また「選んでよかった」と思った派遣企業のエピソードのほとんどが、コーディネーターの親身な対応を挙げていた。特にコーディネーターの質や対応の差が、登録先を選ぶ際の重要ポイントとなっている可能性が高い。

【総括】福岡の女性たちの働く実態は…

◆勤続年数は年齢を重ねるほどに2極化。転職した経験をもつ女性は8割にのぼる

女性たちの現在の職場での勤続年数は、3年以内が約45%、5年以上が約45%と2つに分かれ、年齢を重ねるごとに、短期の勤務を繰り返す人と、長く務める人とに2極化している構造がみられた。また、8割近い女性が1度は転職を経験したことがあり、さらには4割の女性が「3回以上」転職していることがわかった。

◆仕事で得たいのは「成長」。でも現実には「将来への不安」「人間関係」も解決したい

女性たちが仕事に望むのは【自分が成長できること】。給与や勤務条件はもちろんだが、それ以上に自分自身の成長を大切にしたい女性達が多いことがわかった。

一方で、実際に転職を考えたときの大きな理由となっているのは「会社の将来性」や「人間関係への不安」。自分の成長を大切にしたいという理想と、会社の安定性や人間関係の悩みなどの現実とに揺れる女性たちの姿が垣間見える。

◆転職志向のある女性は、8割以上！しかし、転職フェアにまでは行動していない

8割以上の女性が、転職を考えたことがあり、女性たちの転職志向の高さがうかがえる。しかし、転職を考えても「転職フェア」に足を運んだことのある女性はわずかだった。

実際に転職を経験した女性たちの転職活動のいちばんの頼り先は「ハローワーク」。転職しようと思っても、どこで情報を得ていいのか分からない、ハローワークしかないと思い込んでいる、そもそも転職フェアの情報を知らない、など転職を考える人に情報が行き届いていないといった課題があると予想される。

◆派遣社員経験のある人は3人に1人。経験期間は短期派・長期派に2極化

派遣社員の経験があるのは、約3割。経験者の約半数が「3年以内」か「5～10年以内」の派遣社員経験があり、経験期間が短い、長いかに2分された。

◆派遣企業選びの2大条件は、「給与」と「企業の安心感」

【給与】はもちろん、「知名度」「コーディネーターの質や対応」など、【企業の安心感・信頼感】が派遣企業選びのポイントとして重要視されている可能性が高い。いかに女性たちへの知名度・認知度をあげるかという点と、「頼れる、親身になってくれるコーディネーターがいる」という安心感を高めるPRが、女性たちを呼び込むカギとなるだろう。

今回の調査では、実に8割もの女性たちが「転職をしたい」と考えた経験があり、実際に転職者も多いことが分かった。女性たちの転職志向は高いことが分かる。

今後、ライフスタイルの多様化に伴い、その時々自分の働き方に合った仕事・職場へと転職を繰り返しながら、積極的に仕事を選んでキャリアを築く女性たちはますます増えるだろう。今、女性たちの働き方が、よりアクティブで変動的なキャリア構築へと移行する過渡期にきている。だからこそ、転職を望む女性たちへ、彼女たちの変動的なキャリアプランに柔軟に対応できる転職・人材紹介のサポートができることを一歩先駆けてPRする必要があるはずだ。



本件に関するお問合せは、
株式会社アヴァンティ まで

avanti

【データご利用の際のお願い】

データの引用、出版・印刷物への転載に関しては、出典元を「avanti働く女性研究所調べ」と明記していただければ、基本的にご利用いただけます。また、ご使用に際しては必ず下記の「avanti働く女性研究所」窓口までご一報ください。

E-mail : labo@e-avanti.com

TEL : 092-724-3226